



AS発信元違反（AS Origin Violation）

- [AS発信元違反（AS Origin Violation）](#)（1 ページ）

AS発信元違反（AS Origin Violation）

このアラームは、発信元 AS を持つモニタ対象プレフィックスのアドバタイズメントが [AS 発信元リスト（AS Origin List）] にない場合に検出します。これは違反アドバタイズメントであり、特にアドバタイズメントの AS パス長が正規のアドバタイズメントよりも短い場合に、プレフィックスハイジャックの試みを表す可能性があります。



- (注) 問題にすぐに対処できるように、問題（ルート情報の漏えい、または何らかのタイプの設定不備）を起こしている可能性があるピアを知っておくと役立ちます。[マイピア（My Peers）] ルールは、特定の Crosswork Cloud サブスクリプションでこのアラームに使用できます。[c_subscription-plan-options.xml](#)[マイピア（My Peers）] オプションは、ピアからの BGP 更新のみに従いますが、[すべてのピア（All Peers）] はピアおよびグローバルピアからの BGP 更新に従います。[ピアの追加](#)このオプションを設定するには、[Crosswork Cloud Network Insights](#) ポリシーの追加、

考えられる検出される問題

このアラームは、ルートリークまたはプレフィックスハイジャックの特定に役立ちます。

関連するアラームルールの設定

このアラームルールをプレフィックスポリシー設定に追加する場合は、次のオプションを設定する必要があります（[外部ルーティング分析（External Routing Analysis）] > [設定（Configure）] > [ポリシー（Policies）] > [ポリシーの追加（Add Policy）] > [プレフィックスポリシー（Prefix Policy）] > [ルールの追加（Add Rule）] > [AS 発信元違反（AS Origin Violation）]）。

- [しきい値](#)
- 許可された発信元 ASN

例

プレフィックス 8.8.8.0/24 の [AS発信元違反 (AS Origin Violation)] アラームルールでプレフィックスポリシーを作成し、[AS発信元リスト (AS Origin List)] フィールド値が 15169 で設定されています。しかし、確認された BGP 更新が 8.8.8.0/24 および 109 の発信元 AS で受信されます。AS 109 が [AS発信元リスト (AS Origin List)] に含まれていないために、このアラームがトリガーされます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。